

## 研究授業(保健体育科)

言語活用能力、コミュニケーション能力の育成を目指した保健体育の研究授業を公開しました。

日 時: 平成27年12月8日(火) 4限 11:45~12:35

授業者: 高木 健太郎

教 科: 体育(ラグビー)

クラス: 1年3, 4組

場 所: グラウンド

### ■本時の授業の課題の確認 (ペアで意見交流)

- ・ 前回の授業の反省から、本時の自分の課題をペアで確認しました。



### ■作戦会議 (グループで意見交流)

- ・ 同じグループでトライをとるためにどのように攻めるか話し合いました。



### ■グループ別練習の中で (自発的に交流)

- ・ 話し合いの場面を設定しなくても生徒達は自然に交流を始めました。



### ■課題に対する反省

- ・ 本時の課題に対する反省を代表者が発表し、次回の課題を確認しました。



- 体育の授業は他者との交流なしでは、成り立ちません。活動の中で、仲間の動きを観察し、良いところ、改善するところなどを、自然に交流する姿が見られました。授業の最初と最後に、課題・反省点をクラス全体で確認することで、目標を明確化し前向きに授業に取り組む生徒が多く見られました。

## 授業改善(保健体育科)

日 時: 平成27年1月18日(月)、19日(火)、21日(木)

教 科: 保健

クラス: 1年生全クラス

場 所: 各教室

1年生が保健の3単元社会生活と健康で、興味のある内容を調べ学習し、発表会を行いました。



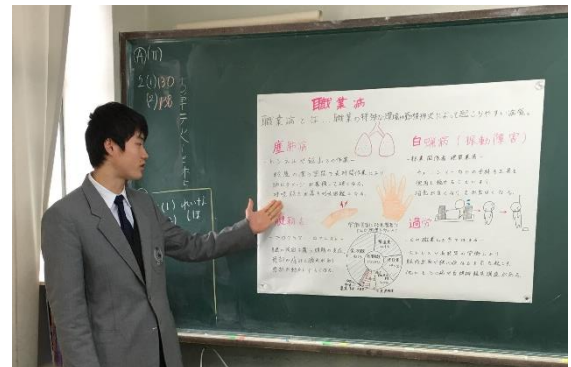
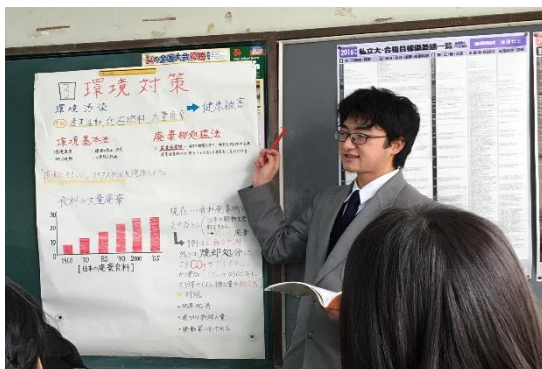
■教科書の単元で興味のあるところを仲間と共に調べ学習をし、模造紙にまとめて発表の準備をしました。

■各グループ(3~4人)8分間の発表で中間発表に向けての準備を行いました。



■中間発表として8ブース作り、グループの代表者がポスターセッションを行いました。

■発表後、各ブースで質疑応答、本発表へ向けての改善点、良かった点などを交流しました。



■中間発表での反省をグループで改善し本発表を行いました。

■どのグループも、中間発表よりレベルが上がっており、特に労働のところを調べたグループは、大学生の時期、新入社員の時期、中核の時期、定年間近の時期と、これからの社会の中でどのように労働と係っていくかというのを年齢別に調べた発表が、生徒たちに好評でした。